

平成31年度前期 科目等履修生開講科目概要

看護学部

○教養・基礎科目群

科目名	概 要 (科目目的)
医療と文化	<p>病気と障害の当事者の語りを読み解きながら、病気と障害の経験とその背景にある文化のあり方を理解することがこの科目の目的です。</p> <p>【教科書使用なし】</p>
現代社会の社会学	<p>私たちは社会のなかで数多くの他者とともに生きており、さまざまな経験をもっています。社会学とは、こうした私たちの経験の諸相に注目し、またそれらのなかに私たちが他者と共に生きていることから由来している帰結を見出していく知的作業のことで、この授業ではとりわけ健康や医療を中心にこのような作業を行いながら、私たち自身の経験をより広い視野から捉え返して行ってみたいと考えています。</p> <p>【教科書使用】</p> <p>石川ひろの・進藤雄三・山崎喜比古（編）『社会学（系統看護学講座 基礎分野）』医学書院, 2012年.</p>
多文化社会の課題	<p>今日の日本には、国外から多くの人びとがさまざまな形で移動してやって来ています。これにともない、言語や文化、身体特徴などにおいて異なる人びとの間での遭遇と対立、抑圧の機会も数多く存在しており、だからこそ共存と共生の可能性を模索することは私たちにとってきわめて重要な現実的課題となっています。この課題を念頭におきながら、この授業ではさまざまな人びとの差異が織りなしてきた人間関係と問題の歴史と現状について学んでいきたいと思えます。</p> <p>【教科書使用】</p> <p>松尾知明『多文化共生のためのテキストブック』明石書店, 2011年.</p>
健康科学	<p>健康は、人生をよりよく生きるための財産である。感染症などからその健康を守ることが医療の大きな役割であることは今も昔も変わらない。しかし、現代では社会の複雑化、運動不足や栄養の偏りなどから自分で作ってしまう病気（生活習慣病）が増えている。習慣的な運動はその良薬であるため、本科目では運動についての生理学的知識や活用法を学び、自分の健康づくりや看護職者としての幅を広げることに役立てる。また、三重県の文化と魅力を知って健康との関わりについても考える。</p> <p>【教科書使用】</p> <p>朝山正己・彼末一之・三木健寿編著 「イラスト運動生理学」東京教学社</p>

○専門支持科目群

科目名	概 要 (科目目的)
形態機能学Ⅰ	<p>形態機能学Ⅱと合わせて、正常な人体の構造と機能について、看護実践に結びつけて理解することが目的である。</p> <p>【教科書使用】</p> <p>以下の参考書①～⑤の中から、自分に適したものを選んで手元に置くこと（形態機能学Ⅱと共通）。</p> <p>①ヴェルナー、プラッツァー、平田幸男訳：分冊解剖学アトラスⅠ、Ⅱ、Ⅲ 第6版（原著10版）、文光堂</p> <p>②ヴェルナー、プラッツァー、平田幸男訳：解剖学アトラス（原著10版）、文光堂</p> <p>③マリーブ、E. N. 林正健二ほか訳：人体の構造と機能 第4版、医学書院</p> <p>④坂井建雄、岡田隆夫：系統看護学講座 専門基礎 [1]人体の構造と機能 第10版解剖生理学、医学書院</p> <p>⑤菱沼典子：看護形態機能学生活行動からみたからだ 第4版、日本看護協会出版会</p>
形態機能学Ⅱ	<p>形態機能学Ⅰと合わせて、正常な人体の構造と機能について、看護実践に結びつけて理解することが目的である。</p> <p>【教科書使用】</p> <p>以下の参考書①～⑤の中から、自分に適したものを選んで手元に置くこと（形態機能学Ⅱと共通）。</p> <p>①ヴェルナー、プラッツァー、平田幸男訳：分冊解剖学アトラスⅠ、Ⅱ、Ⅲ 第6版（原著10版）、文光堂</p> <p>②ヴェルナー、プラッツァー、平田幸男訳：解剖学アトラス（原著10版）、文光堂</p> <p>③マリーブ、E. N. 林正健二ほか訳：人体の構造と機能 第4版、医学書院</p> <p>④坂井建雄、岡田隆夫：系統看護学講座 専門基礎 [1]人体の構造と機能 第10版解剖生理学、医学書院</p> <p>⑤菱沼典子：看護形態機能学生活行動からみたからだ 第4版、日本看護協会出版会</p>
形態機能学Ⅲ (植物機能生理学)	<p>ヒトの生体機能を追究する学問である生理学のうち、呼吸・循環など個体の恒常性維持に関わる植物機能について学ぶ。新たな個体の誕生から、発達、生命の維持という各ステージで、遺伝情報の転写と翻訳などの分子・細胞レベルの現象、組織・臓器レベルの機能に触れ、さらには個体レベルにおける機能の統合について学ぶ。</p> <p>【教科書使用】</p> <p>L. S. Costanzo 著 岡田 忠、菅屋潤壹監訳、コスタンゾ明解生理学（エルゼビア・ジャパン）</p>

○専門科目群

科目名	概 要 (科目目的)
看護教育学	<p>看護学教育の制度や歴史的変遷について理解するとともに、看護専門職者として自律して行動できるよう主体的に学ぶことの意義を理解し実践する。</p> <p>【教科書使用なし】</p>
母性看護学概論	<p>女性の生涯をとおした母性の健康と次世代の健全育成を支援するため、母性看護の基盤となる概念理解に基づき、母性看護の対象への理解を深める。また、母性看護の対象をとりまく社会の変遷と現状を理解し、母性看護の課題や役割について考える。</p> <p>【教科書使用】</p> <p>系統看護学講座 専門分野Ⅱ 母性看護学概論 母性看護学① (医学書院)</p>